

みんなのた場

サークル仲間 ⑫

写経サークル

筆先に集中心癒やす

シーンと静まり返った部屋の中で、テーブルを囲んだサークルメンバーたちが筆を使って一文字ずつ丁寧に般若心経などのお経を書き写していきます。誰も言葉一つ発することはなく、心を無にして筆先に集中。そこには、書く人の心身を癒やす、ゆったりとした時間が流れています。

成29年5月から月1回ずつ活動しています。

従来は雄勝まちづくり協会の事務局がある市復興まちづくり情報交流館雄勝館を中心に活動していましたが、現在は雄勝小中学校3階のラウンジを主会場に、メンバーで話し合ってから決めた日曜日の午後1時に開かれるようになりました。

雄勝地区だけでなく近隣の河北、北上地区にも入会を呼びかけ、本年度は65歳から80歳までの14人がメンバーとなっています。毎回、近隣の寺院の住職を講師に



筆先に集中し写経に取り組むメンバー



仏教などに関する話も聞ける

招いて開催し、皆で開経偈かいきょうげなどのお経を読み上げた後、約1時間にわたり、その場ですら写経に取組むひたすら写経に取り組むほか、写経が終わった後のお茶会の時間を利用し、仏教のことや私生活に関する話し合いなども行います。

メンバーになって2年目の山内貞義さん(69)は「自分自身を見つめ直す貴重な時間が得られ、人を思いやる大切さを感じることができ、現在、写経の魅力が話します。」

60歳代の女性メンバーは「上手でなくてもいいですよ」と言われているので、気軽に写経ができ、墨をすり始めた時から日々の慌ただしさから解放されるような気分になれます」と、毎月1回のサークルをとっても楽しみにしています。



未来につむぐ復興の森をつくらう

南浜復興祈念公園に苗木約7000本植樹

令和2年度の完成を目指す石巻南浜津波復興祈念公園で9月23日、「復興の森づくり植樹祭」が開かれました。全国からボランティアら約800人が参加。市民の手で未来につむぐ復興の森をつくらうと、公園南側の敷地約1畝にクロマツやカシワなど16種類の苗木約7000本を植えました。植樹祭は今年で3回目。祈念公園で杜づくりや市民活動に携わる民間団体などでつくる同公園参加型維持管理運営検討協議会が主催し、国や県、石巻市、企業などが共催しました。

石巻市立桜坂高等学校

桜坂だより 第9号



こんにちは、桜坂高校です！
8月27日から始まった2学期も、いよいよ後半になりました。1・2年生は【自分の将来について考える】、3年生はまさに【人生のターニングポイント】となる大切な時期です。元気の桜坂生の様子をご紹介します♪



9月11日 1学年 社会人講話

～石巻で働く魅力的な女性から学ぶ～
卒業生を含む石巻管内で働く女性11人をお招きして、仕事の内容や苦労話、今の職業に就くまでの失敗談などをお話いただきました。
講話の前後で「働くとは？」イメージが大きく変わりました。

9月13日 就職試験出陣式

新規高校卒業予定者の就職試験が開始する9月16日を目前に、「就職試験出陣式」を行いました。
先生方から応援・アドバイスをいただいた後、代表生徒の決意表明がありました。「ともに励ましあいながら目標へ向かってがんばりましょう！」



10月6日 吹奏楽部 第5回定期演奏会

～年に1度の練習の成果を発表～
3年生にとっては最後のステージ。OBの協力をもらいながら、趣向を凝らしたステージに元気な桜坂ハーモニーを響かせました♪

桃生 1000人が軽快にパレード

はねこ踊りフェスティバル



『ものうふれあい祭2019はねこ踊りフェスティバルin桃生』が9月14日、植立山公園で開かれました。昼の部のはねこ踊りコンテストには東京から友情出演の小学生らを含む10団体が出演。夜は公園のメイン道路を会場に寺崎はねこ踊り保存会や地元の小・中学校関係者ら18団体約1000人が軽快な踊りでパレードし、祭りを盛り上げ、最後は1200発の花火が夜空を彩りました。

Topic of town まちの話題



河北 無事故願い 折り鶴と短冊

飯野川小児童買い物客に配る

飯野川小学校の4年生27人が9月25日、ウジエスーパー飯野川店で「折り鶴&レター作戦」に取り組みました。秋の交通安全運動の一環で、「交通安全、よろしくお願いします」と呼び掛けながら、石巻地区交通安全協会飯野川支部が作った折り鶴と5年生が手書きした交通安全を願う短冊をひもでつないだアクセサリに、6年生からのメッセージを添えて、買い物客に配布しました。



石巻 アニメファン 一堂に結集

「まき」ミ祭りで歌、衣装を披露

アニメとコスプレのファンが一堂に会する「まきコミ祭2019」が9月15日、かわまち交流センターを主会場に開かれました。子どもセンターらいつの小学5年生から高校3年生で組織する「子どもまちづくりクラブ」が昨年に続いて企画。参加者が奇抜な衣装や派手なメイクでアニメ主題歌のカラオケやコスプレを披露し、多くの若者が集まり盛り上がりました。



河南 記念品贈り長寿をお祝い

530人出席し敬老会

河南地区敬老会が9月7日、遊楽館で開かれました。77歳以上の対象者530人が出席。菅原秀幸副市長が「皆さんは郷土発展の礎を築きました」と式辞を述べ、菓子などの記念品を贈ってお祝いしました。会場では、健康づくりに取り組む地元の「かなん楽しくニギニギ隊」が玄米入りダンベルを使った体操を披露。河南文化協会の会員が舞踊などで盛り上げました。



雄勝 「孫育て 無条件の愛注いで」

雄勝保育所で家庭教育学級

雄勝保育所で家庭教育学級が9月26日にあり、祖父母ら約15人が参加しました。元幼稚園長で、お話集団「たそがれフライデーズ」代表の津田眞一さん(東松島市)が「じいじもばあも腕まくり」と題して講話。絵本を読みながら「孫は無条件に愛しましょう」「褒めて育てましょう」などと、孫育ての秘けつ、楽しさを話していただきました。



牡鹿 プロの伴奏で校歌を斉唱

大原小で仙台フィルが演奏会

仙台フィルハーモニー管弦楽団のメンバー4人が9月26日、大原小学校を訪れ、体育館で生演奏を披露しました。4人はフルート、バイオリン、ピオラ、チェロの四重奏で、「口笛吹きと犬」「春の海」などを演奏。アンコールでは同校の校歌を奏で、児童たちが合唱しました。演奏会は公益財団法人石巻市芸術文化振興財団の音楽アウトリーチ事業の一環として行われました。



北上 炊きたてのうまさを堪能

初めての「新米フェア」が好評

地元産米をアピールする初めての「きたかみ新米フェア」が9月29日、北上観光物産交流センターで開かれました。ヨシの腐葉土を入れた水田で育てた新米のおにぎりとしじみ汁が無料で振る舞われ、炊きたての味が好評でした。併設の石巻・川のビジターセンターでは「環境フェアきたかみ」が同日開催され、子どもたちが海の生き物のスタンプを使ったエコバッグなどを作りました。

